

海の月間

～海への理解を深めていただくための
取り組みを行いました～

仕事 の窓 6

運輸部



表彰状授与の様子



受賞者全員にて記念撮影



一日船長と中学生



船内の点検・見学風景



展示の様子

「海事関係功労者表彰式」と 「一日船長任命式」

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。「海の日」はこのような海の恩恵に感謝し、海を大切にすることを目的に平成8年に制定されました。この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地において多彩な行事が展開されました。当局においても「海事関係功労者表彰式」、「一日船長任命式」及び「中学生海の絵画コンクール受賞作品及び帆船模型の展示」を行いました。

7月25日に那覇市内のホテルにて海事関係功労者表彰式を開催し、海事関係事業の団体・企業役員、優良船員及び運輸関係統計調査協力企業など20名を表彰しました。また、同式典において「中学生海の絵画コンクール」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局局長賞（金賞）受賞の伊禮遥（いれいはるか）さんを始め、10名の中学生を表彰しました。

表彰式終了後は、那覇〜渡名喜〜久米島航路の運航する「フェリー琉球」に場所を移し、同船の一日船長として、那覇観光キャンペーン

レディーの當眞ありす（とうまありす）さんを任命し、船内の点検・巡視を行い、同時に「中学生海の絵画コンクール」受賞者及びご同行のご家族の皆様を船内へ招待し、船内見学を実施しました。

當眞さんは、「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に努めていただき、明日を担うシーマンとして頑張つて下さい。」と、船員や関係者に向けて激励のメッセージを送りました。また、中学生及びご家族の皆様も普段見ることができない船の操舵室や機関室を興味深そうに見学していました。

中学生海の絵画コンクール 受賞作品及び帆船模型の展示

8月8日から12日にかけて、当局1階行政情報プラザにおいて、「中学生海の絵画コンクール」受賞作品（40作品）及び帆船模型（11作品）の展示を行いました。

会場には、ご来庁者をはじめ多くの方が訪れ、「海」をテーマに中学生が描いた力作を眺めたり、「タニタニック」のほか、愛好家の皆様も丹精込めて作り上げた帆船模型を足止めてじっくり眺める光景が見られました。